

## 第3学年国語科学習指導案

児童 男子12名 女子11名 計23名

指導者 荒川 梨紗

### 1 単元名・教材名 書き手のくふうを考えよう

『ほけんだより』を読みくらべよう(東京書籍 3年上)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

- ・6月単元「自然のかくし絵」では、段落ごとの内容を捉えながら読む学習を行った。大事だと思う言葉や文に気を付けて読むことに慣れてきている。
- ・大半の児童が、繰り返し出てくる言葉や題名とつながりがあると思う言葉を見付けて読んでいるが、学期末テストなどを見ると、初見の文章を読んで事柄の順序や大事な言葉を見付けながら全文の内容を読み取る力は十分ではない。

#### (2) 教材について

- ・「ほけんだより」という学校生活における配布物を題材に取り上げており、実生活での活用につなげやすい教材である。
- ・目的と構成は同じであるが、事柄の取り上げ方や説明の仕方が異なる2つの文章の違いに焦点化することで、書き手の意図によって異なる表現の工夫を読み取る力を身に付けることができる。
- ・いずれの「ほけんだより」にも図や表が用いられていることから、資料と文章との関係を考えることにも適している。

#### (3) 指導にあたって

##### 〈手立て1〉単元全体や単位時間ごとの見通しをもたせる工夫

##### ① 学年の系統性と児童の実態をふまえた単元構想の作成

- ・本単元では、必要な事柄の取り上げ方や説明の仕方を学ぶために、おたより作りを言語活動として設定する。三次で自分たちの伝えたいことを図や表を使って表現するために、二次に教材文で書き手の意図によって異なる表現の工夫を読み取る活動をする。本単元の身に付けたい力である、文章を読み比べて図表と文章の関係を考えながら書き手の工夫に着目して読むことを身に付けることができると考えた。

##### ② 単元の導入の工夫

- ・単元前に、教師の自作した二つのおたよりのモデルを提示し、「歯みがきをしよう」という気持ちになった方を選んでシールを貼らせることで、図や表を使った文章や食育・健康の図書に興味をもたせる。
- ・おたよりのモデルによって単元のゴールまで学習意欲を持続させる。
- ・食育や健康に関する本を紹介し、本を読むごとにリストにシールを貼っていくことを説明し、読書への意欲を高める。

### ③ 学習計画づくり

- ・おたよりのモデルや教材文、教科書 P.110 の「言葉の力」を基に身に付けたい力を考える。
- ・第三次で取り組むおたより作りのための学習計画を教師とともに大まかに立てる。

### ④ 単位時間の見通しをもたせる工夫

- ・掲示している単元のゴールや学習計画表を確かめながら、本時の学習の見通しをもたせる。
- ・二つの文章の共通点と相違点にアンダーラインを引いたり囲んだりすることで、書き手の工夫を読み取ることができるようにする。

### ⑤ 次の学習につなげる振り返りの工夫

- ・単元や単位時間の中で課題が達成できたという変容に気付かせるため、どんな活動・方法でできるようになったかを振り返らせる。
- ・単位時間の振り返りを学習計画と一体化したシートに個別に書かせ、次の導入時によい気付きを紹介することで学習意欲を高める。

## 〈手立て2〉学校図書館などの利用目的を明確にし、その機能の活用を図る工夫

### ① 単元の中で読書意欲を高める工夫

- ・おたよりを作成するために、単元の導入時に食育・健康に関する図書を紹介し、展示する。
- ・本のタイトルをリストにして掲示し、読んだお話にシールを貼っていくことで読書意欲を持続させる。

### ② 発達段階に応じた情報収集や選択、活用方法の指導の工夫

- ・必要な情報が載っている本は第何類から選べばよいのかを確かめ、図書コーナーを積極的に利用させる。
- ・身の回りのいろいろなおたよりを集めてコーナーを設置する。

### ③ 魅力ある図書館運営の工夫

- ・前単元「自然のかくし絵」で作った「かくし絵クイズコーナー」を想起させ、自分たちが作りたいコーナーをイメージさせる。

## 3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標 二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や、説明の仕方の工夫を読み取ることができる。

### (2) 単元の評価規準

【関】 二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見付けようとしている。

【読】 文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。

C(1)イ

【言】 文の中での語句の役割や語句相互の関係に注意し、文の構成について理解している。

伝国(1)イ(キ)

(3) 単元の系統性

	2年	3年	4年
単元名 教材名	二つのせつめいをくらべよう 「ふるしきは、どんなぬの」	書き手のくふうを考えよう 『ほけんだより』を読みくらべよう	身の回りの文章を読みくらべよう 「広告と説明書を読みくらべよう」
目標	カードと本の文章という二つの文章を読み比べ、それぞれの説明の違いに気付くことができる。	二つの「ほけんだより」を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や、説明の仕方の工夫を読み取るすることができる。	物語で起きた出来事を読み取り、物語のしかけを見付けることができる。
おさえない 主な学習 用語	説明の仕方の違い	説明の仕方の工夫	表し方の工夫
		図 表	図 レイアウト 写真

4 指導計画 (全7時間)

次 単 元 前	時	主な学習活動 ★図書館との関わり	評価規準とその方法
一	1	○おたよりのモデルや教材文を基に身に付けたい力を考える。 ○朝ごはんや歯みがき、早寝早起きの大切さを学校のみんなやお家の人に知ってもらうために、おたよりを作る学習計画を立てる。 ★食育・健康に関する本を並行読書していくことを知る。	【関】二つの文章を読み比べて、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見付けようとしている。(発言・ワークシート)
二	2	○二つの文章の組み立てを確かめるために線で囲み、読み比べのポイント(目的、事柄の取り上げ方、説明の仕方)をおさえる。	【読】文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。(発言・ワークシート) 【言】語句の役割や語句相互の関係に注意し、文の構成について理解している。(発言・ワークシート)
	3	○二つの文章の相違点である「事柄の取り上げ方」と「説明の仕方」について工夫を読み取る。	
	4	○文章の内容と図や表、アドバイスとの関係を考えながら、書き手の工夫を整理する。	
三	5	○朝ごはん、歯みがき、早寝早起きの中から、おたよりで伝えたいテーマを選び、作成する。	【読】文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいる。(発言・カード)
	6	★教師が用意した(並行読書やポスターに出てくる)図や表から、自分のおたよりに合うものを選ぶ。	
	7	○感想を伝え合い、振り返りをする。	

## 5 学習計画表

三			二			一
7	6	5	4	3	2	1
発表・ふりかえりをする。	← おたよりを作る。		← 二つの文章を読みくらべる。		読みくらべのポイントを考える。	おたよりに作る学習計画を立てる。
食育・けんこうの本を読む						

【計画】

- ・事がらの取り上げ方
- ・せつ明の仕方

書き手のくふうを読み取る力

【身につけていきたい力】

書き手のくふうを考えよう  
学習計画表

## 6 本時の指導

### (1) 目標

二つの文章の共通点と相違点を確認、書き手の工夫を読み取ることができる。

### (2) 評価基準

おおむね満足できる	努力を要する児童への手だて
二つの文章の共通点と相違点を手掛かりにして、書き手の目的と、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読むことができる。	二つの文章の相違点にアンダーラインを引いたり、キーワードを提示したりしてそれぞれに着目させる。

### (3) 展開

時	学習活動	指導上の留意点（・）評価（◎）
導入	<p>1 前時を想起する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み比べのポイントを想起する。</li> </ul> <p>2 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">二つの「ほけんだより」には、それぞれどことなくふうがあるのだろう。</p> </div> <p>3 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的は共通していることを確かめ、「事柄の取り上げ方」と「説明の仕方」の中で相違点を見つけていくことをおさえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名や前時の学習で学んだことを発表させることで想起させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈手立て1-④〉 掲示している単元のゴールや学習計画表を確かめながら、本時の学習の見通しをもたせる。</p> </div>
5分		

<p>展開</p> <p>33分</p>	<p>4 課題を解決する</p> <p>(1) 事柄の取り上げ方の工夫を読み取る。</p> <p>①音読をする。</p> <p>②大事な言葉にアンダーラインを引いて、取り上げている事柄を書き抜く。</p> <p>③取り上げ方の違いを考える。</p> <p>(2) 説明の仕方の工夫を読み取る。</p> <p>①一つ目の文章が図で伝えたいことを考える。</p> <p>②二つ目の文章が表で伝えたいことを考える。</p> <p>5 まとめをする</p> <p>・二つの文章はそれぞれ、朝ごはんをしっかりと食べてもらうために、どんな事柄を取り上げて、どんな説明をしているか、自分の言葉でまとめる。</p>	<p>・繰り返し出てくる大事な言葉に気を付けながら音読させる。</p> <p>・朝ごはんを食べたときのよいこと（プラス面）、食べなかったときの悪いこと（マイナス面）の二つの視点で取り上げていることに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈手立て1-④〉</p> <p>二つの文章の大事な言葉にアンダーラインを引くことで相違点に気付き、書き手の工夫を読み取ることができるようにする。</p> </div> <p>・それぞれの文章にしか見られない工夫を書けるよう、ワークシートを基に考えさせる。</p> <p>◎文章を読み比べて、図表と文章との関係を考えながら、書き手の工夫に着目して読んでいく。 (発言・ワークシート)</p>
<p>終末</p> <p>7分</p>	<p>6 振り返りをする</p> <p>・本時で何をして何が分かったか、何に気付いたかを振り返る。</p> <p>7 次時の確認をする</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈手立て1-⑤〉</p> <p>単元や単位時間の中で課題が達成できたという変容に気付かせるため、どんな活動・方法でできるようになったかを振り返らせる。</p> </div> <p>・次時は、書き手の工夫を整理しながらまとめることを伝える。</p>

(4) 板書計画

課題

二つのほけんだよりには、それぞれどことなくふうがあるだろう。

**二つ目の文章**

**朝ごはんをしっかり食べよう**  
みなさんは、朝ごはんをきちんと食べていますか

朝ごはんを食べないと、元気がなくなったり、だるさを感じたりすることがあります。

右の表は、だるさを感じてほけん室に来た人と朝ごはんを食べたかどうかを聞いたものです。これを見ると、食べた人より食べなかった人のほうが多くいることがわかります。どうして、朝ごはんを食べなかったのでしょうか。

朝ごはんを食べなかった人に、その理由を聞いてみました。すると、もっとも多い答えは、「食べる時間がなかった」というものでした。

ほけん室に来た人と朝ごはんを食べなかった人	20人
朝ごはんを食べた人	10人

食べなかったおもな理由

食べる時間がなかった	11人
おなかがへっていなかった	5人

朝ごはんをしっかり食べるためには、前の日の夜は、早くお寝することも大切ですね。

みなさんへのアドバイス

朝ごはんは、毎日のけんこうのためにかかすことのできない、大切な食事です。朝ごはんをしっかり食べて、元気に生活しましょう。

**取り上げている事から**

**事からの取り上げ方**

から、朝ごはんをしっかり食べよう。 から、朝ごはんをしっかり食べよう。

**ざつめい 説明の仕方**

↓ ↓

**一つ目の文章**

**朝ごはんをしっかり食べよう**  
みなさんは、朝ごはんをきちんと食べていますか

朝ごはんは、みなさんが元気に生活するために、大切なものです。

朝ごはんはエネルギーになります。みなさんが、体を動かしたり、べんきょうしたりするためには、エネルギーがひつようです。ですから、朝ごはんを食べないと、エネルギーがなくなってしまう、体がだるくなってしまいます。

また、朝ごはんを食べると、体温が上がります。体温が上がると、体を動かすじはんびができます。お昼くらいまで高い体温がつづくので、午前中を元気にすごすことができます。

朝ごはんは、ごはんやパンだけでなく、ほかの食べ物もいっしょに食べるとよいですね。

みなさんへのアドバイス

朝ごはんは、毎日のけんこうのためにかかすことのできない、大切な食事です。朝ごはんをしっかり食べて、元気に生活しましょう。

まとめ

二つ目の文章は、みんなに朝ごはんをしっかり食べてもらうために、食べないとだるさを感じることを取り上げて、表を使って説明している。

一つ目の文章は、みんなに朝ごはんをしっかり食べてもらうために、朝ごはんがエネルギーになることを取り上げて、図を使って説明している。